

# 熊本市 坪井川で精霊流し 来月復活へ 市民の会発足

かつて坪井川で行われていた精霊流しを、盆の七月十五日に復活させ、熊本市の新たな夏の風物詩にし、市民の会が6日夜、発足した。

坪井川では戦前まで精霊流しが行われていたが、護岸工事などにより、近づける場所が少なくなってきたことから、今では一部で個人的に行われているという。

計画では、同市平楽城町の高橋公園石岸に水辺まで下りて灯籠を流すための仮設階段を設置。

午後七～九時にかけて臨時、灯ろうや精霊舟を流してもらう。流れ下った灯ろうなどが河川環境を汚すなどの指摘もあるため、約一・五歩幅の終点「船馬橋」にネットを設置。ポランテアが翌日早朝から回収する。

参加費は灯ろう一基あたり千円の予定で、百五十基の参加を見込んでいる。荒天の場合、翌十六日に順延することも検討している。

事務局の荒井正敏さん(左)は、「灯ろうが水面を流れてくると、多くの人に目にも来てもらったり、ポランテアとして協力してもらい、まちづくり活動の一つとして盛り上げていきたい」と話している。

問い合わせは「むらやま」☎096(354)6083。(山口尚久)



市民ら約30人が出席した「熊本城下町精霊流し市民の会」の発足式

「熊本城下町精霊流し市民の会」の発足式

事務局の荒井正敏さん(左)は、「灯ろうが水面を流れてくると、多くの人に目にも来てもらったり、ポランテアとして協力してもらい、まちづくり活動の一つとして盛り上げていきたい」と話している。

問い合わせは「むらやま」☎096(354)6083。(山口尚久)



初のデザインコンペで商品化第1号となった通潤酒造の純米酒「通潤」。赤いラベルが特徴という。

## 熊本の赤をイメージ デザインコンペ 第1号商品を発売

くまもとブランド協議会(中尾保徳会長)が初めて実施した「デザインコンペ」の第1号商品がこのほど発売された。

メタリックな赤ラベルを張った真産純米酒で、熊本の赤をイメージしたデザインとなった。

同コンペは、地場デザイン育成と企業のデザイン開発力の強化が目的。企業とデザイナーの双方を募り、具体的な商品案に対して複数のデザイナーがパッケージなどを企画・試作をコンペ形式で提案する。

初回に限り、企業側は最新のPOS機器を使い、宝探しをするなども、熊本市の九州商業専門学校

「通潤」は、斬新になりがちだが、斬新ならラベルになった」と通潤酒造の山下泰雄社長(右)は、既に同町内などで販売している。

残り二件は商品化に向けて協議中。同協会は本年度も同コンペを実施する予定。(小多崇)

「日本酒のデザイン」

- ### インフォメーション 催し
- ◆県立美術館本館 常設展Ⅱ 阿蘇神社と西蔵殿寺・熊本の現代美術～展覧会歴代受賞作品から26日まで。☎096(352)2111同館。
  - ◆県立美術館分館 第8回遊美 熟写写真展▽2005ART SCHOOLあとりえパブリック展▽第15回コスモス油彩展▽第11回デコパージュ作品展 12日まで。☎096(351)8411同館。
  - ◆熊本市現代美術館 浜田知明 新作彫刻展▽草間彌生 無限の大海をいく時 7月3日まで。☎096(278)7500同館。
  - ◆県伝統工芸館 2005荒尾玉名地域元気展▽陶房花咲うつわ展▽

- ◆熊本公徳会ギャラリー ファブリス デュブレ 個展 20日まで。☎096(327)3125同所。
- ◆県立劇場 8日18時半、劇団民藝「静かな落日一広津家三代」。☎096(363)2233同劇場。
- ◆くまもと版神 岡の会新作油絵展 13日まで。☎096(322)1111同店。
- ◆鶴屋 古代信楽 神山清子作 陶展▽昨日フォト・サークル「春の撮影会」作品展▽TKU西日本文化サークル(本校)水墨画教室作品展 14日まで。☎096(356)2111同店。
- ◆熊本国際民芸館 外村吉之介のころ一開館40周年のあひびみー 9月4日まで。☎096(338)7504同館。
- ◆大宝堂 第24回春丘社日本画展 13日まで。☎096(354)2155同

「計量の日」は、一九四九(昭和二十四)年六月三日に計量法が制定されたことにちなんで制定された。(山口尚久)

熊本市 スズキ 千草亭 美術 街がど クリッパ

59点を展覧 蘇を題材 多く、海パン

「街がど クリッパ」

EM学習会

7日、紙川の飯野

「街がど クリッパ」

EM学習会

7日、紙川の飯野